

医療法人福和会 高齢者診療部

鈴木宏樹

部長



092-663-1118

beppu.or.jp

福岡市東区千早4丁目27-1

## ビジョン

当法人は地域の方々が最期まで口から「食べる」ことのお手伝いをすべく、福岡県の福岡市・北九州市・飯塚市・行橋市において外来診療と訪問診療を行っています。何でもご相談ください。

注目の在宅医療機関へのインタビュー取材「PICK UP! 在宅医療機関」の第13回目は福岡県の医療法人 福和会 高齢者診療部 鈴木宏樹部長です。これまでの歩み、訪問歯科やこれからの歯科医師像について熱く語っていただきました。（2025年1月取材）。

## 祖父の背中を見て、医療人として人の役に立ちたいと思った

### 歯科医師を目指したきっかけを教えてください。

祖父が医師だったのですが、私は祖父ととても仲が良かったんです。祖父はいわゆる地元の町医者といった感じで、近所の方々からいつも「ありがとう」と慕われている姿を、ずっと間近で見してきました。そのような祖父の姿を見て、自分も医療関係の仕事に就いて、人々の役に立ちたいと思ったことが、歯科医を目指したきっかけです。

### 働いている中で、どのようなところにやりがいを感じていますか。

患者さんの希望に沿った治療をし、悩みが解消できたときに、患者さんが感謝してくれていることが実感できるんですね。そのようなとき、この仕事にやりがいを感じます。やはり、地域の方々のために働く祖父をずっと見てきたので、私も人との関わりを大切にする歯科医でありたいといつも思っています。



### 歯科医として、これまでどのような経歴を歩まれてきましたか。

大学卒業後に就職した歯科医院では、審美歯科やインプラント、虫歯の治療を中心に学びながら働いていました。そちらで6年ほど経験を積んだ後、友人の実家である病院に勤めてみないかと誘われて、病院歯科の道へ進むことになったんです。こちらの病院で14年ほど勤務した後、現在勤めている医療法人に移りました。

## 病院歯科での経験から訪問診療の大切さに気づく

### 病院歯科に転向したとき、どのようなことを感じられましたか。

それまでと大きく違ったのは、患者さんの年齢層ですね。最初に勤めていた歯科医院では、比較的若くて、歯もしっかり残っているような方の治療を担当することが多かったのですが、病院歯科で担当する患者さんは、70代から100歳を超えるような高齢の方がメインになりました。患者さんのほとんどが歯を失っていて、入れ歯を必要としているような人々だったんです。

何が大変だったかという、私はそれまで入れ歯を作ったことがほとんどなかったんです。でも、病院歯科に来たからには、どんどん入れ歯を作らないといけない。最初は全然うまく作ることができなくて、患者さんからお叱りを受けたこともありましたね。このままではいけないと思って、義歯の勉強を一生懸命やっていました。

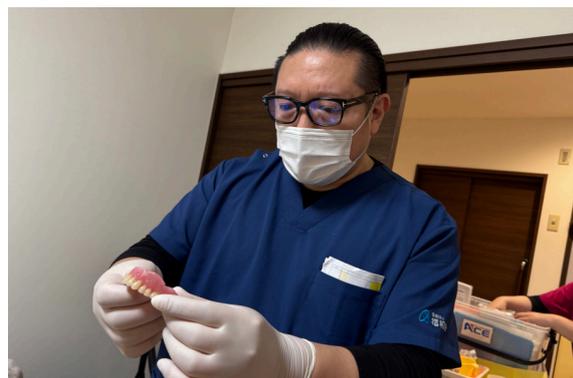
**先生にもそのような時代があったのです。そこから訪問診療の分野に進まれることになったきっかけは何だったのでしょうか。**

その病院が、ケアミックス型の病院だったんです。ケアミックス型というのは、急性期、慢性期、回復期と一貫して患者さんを診ることができる形態でして、一人の患者さんに長く関わることが多かったんです。患者さんが退院されたら、今度は外来で診療し、病院に来られなくなった場合は訪問診療で対応するといったことをしていました。

そのように患者さんと長くお付き合いしていく中で、歯の形をきれいに治すだけではなく、患者さんのためにも、しっかりと噛んで食べることのできる治療を目指したいと思うようになったんです。そこで外来をメインにしながらではありますが、訪問診療を少しずつ始めていきました。

**現在の医院に移られた理由などを聞かせてもらえますか。**

病院歯科を経験する中で、全身疾患を抱える患者さんに寄り添った治療をしたいと思うようになったんです。前の病院では外来の傍ら、訪問診療を少しやらせてもらっているという感じだったので、もう少し訪問診療に注力したいと思ったのがきっかけですね。



**現在はどのような感じで訪問診療を実施されているのですか。**

普段は、施設や病院、ケアマネージャーさんなどから依頼を受けて訪問診療を行っています。規模としては、1日に最大12台の車で各所を訪問することもあるので、規模としては大きい方なのではないかと思えますね。

診療する患者さんは様々で、口腔ケアや摂食嚥下に障害がある方などの治療をしていますが、私が特に力を入れているのは、義歯の分野です。通常よりも難しい症例の患者さんの入れ歯を、私が担当することが多いです。組織の規模が大きいので分業して、自分の得意分野を活かすことができているのではないかと思います。

**先生は、難しい症例を担当することが多いのですか。**

そうですね。もちろん、他の歯科医師も様々な症例に対応できるのですが、義歯は私の注力している専門分野でもあるので、難症例については引き受けることが多いです。私の他には、摂食嚥下の症例を得意としている先生もいますね。

地域からも「あそこなら難しい症例でも診てもらえる」と認識していただけているみたいで、ケアマネさんから難症例の患者さんの紹介を受けることも多いです。

**そうなってくると人手も結構必要なのではないですか。**

はい。歯科医師も衛生士も、もっと必要かなとは思っています。最近、若手の先生も訪問診療に興味を持ってくれる方・・・



**続きはQRコードからアクセスしご覧ください → → →**